

# 米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート

**O#JRE:**

限月	現値	東京 前日比	コメ 始値	高値	東穀 安値	JPY 出来高	SC0 出来高	梱入値	梱入 日付
SEP2	14850	0	14850	14850	14850	2			08-30
OCT2	↑15120	+10	15110	15120	15110	12			08-30
NOV2	↓14900	-50	14950	14950	14900	52			08-30
DEC2	↓14860	+10	15250	15250	14860	27			08-30
JAN3	↑15010	+10	15000	15010	15000	56			08-30
FEB3	↑15200	+200	15000	15200	15000	101			08-30

**試験上場中**

**O#JWR:**

限月	SEP2	関西 OCT2	コメ NOV2	DEC2	関西 JAN3	JPY
ハナ枚数						
前日終値	15460	15610	15660	15710	16180	
前場1節	15460	15610	15660	15710	16180	
前場2節	15400	15620	15670	15720	16190	
前場3節	15400	15620	15670	15720	16190	
後場1節	15400	15620	15670	15720	16190	
後場2節	15400	15620				
後場3節	15400	15620				
前日比	-60	+10				
出来高	18	40				

前日比	18	40
前日比	-60	+10
前日比	12400	12850
前日比	12400	12850
前日比	12400	12850



平成 24 年 9 月

農林水産省

## 【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今回の本レポートは、本年6月から8月までを主な対象としております。

※ 認可されている試験上場の期間は、平成23年8月8日から2年間です。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあり得ます。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

# 目次

1. 米先物取引の試験上場の現状	
(1) 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	2
② 日々の始値、高値、安値、終値の推移	4
③ 値幅制限等の発動状況	7
④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・8月末値段	8
(2) 取引量の動向	
① 出来高（市場における注文成立数）の推移	10
② 1日の平均出来高（市場における注文成立数）の推移	12
③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較	13
④ 限月別の出来高状況	15
⑤ 海外からの取引参加状況（東京穀物商品取引所）	17
(3) 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高（東穀、関西取合計）の推移	18
② 取引所別の取組高の推移	18
③ 限月別の取組高の状況	20
④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移	21
(4) 現物受渡しの状況	
① 限月別の現物受渡しの状況	22
② 産地品種銘柄の割合	24
(5) 取引参加者の構成	
① 当業者・非当業者の割合	25
② 建玉報告対象者の割合	26
2. 関連情報	
(1) 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	28
② 小売物価統計による推移	32
(2) 期近限月の終値と自由米価格（スポット価格）の値動き	33
(3) 平成23年産水稲の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	34
② 平成23年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	34
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	35
(4) 平成24年産水稲の作柄概況	
① 早場地帯の作柄の良否	36
② 平成24年産水稲早場地帯の作柄状況（8月15日現在）	37
(5) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京工業品取引所）	38
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	41
③ 為替の動向（対米ドル、TTS）	41
3. データ集	
(1) 東京穀物商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	44
(2) 関西商品取引所の取引価格データ（始値、高値、安値、終値、帳入値段）	47
4. 参考資料	

## 米の試験上場に係る1年間の経過

### 【これまでの経過】

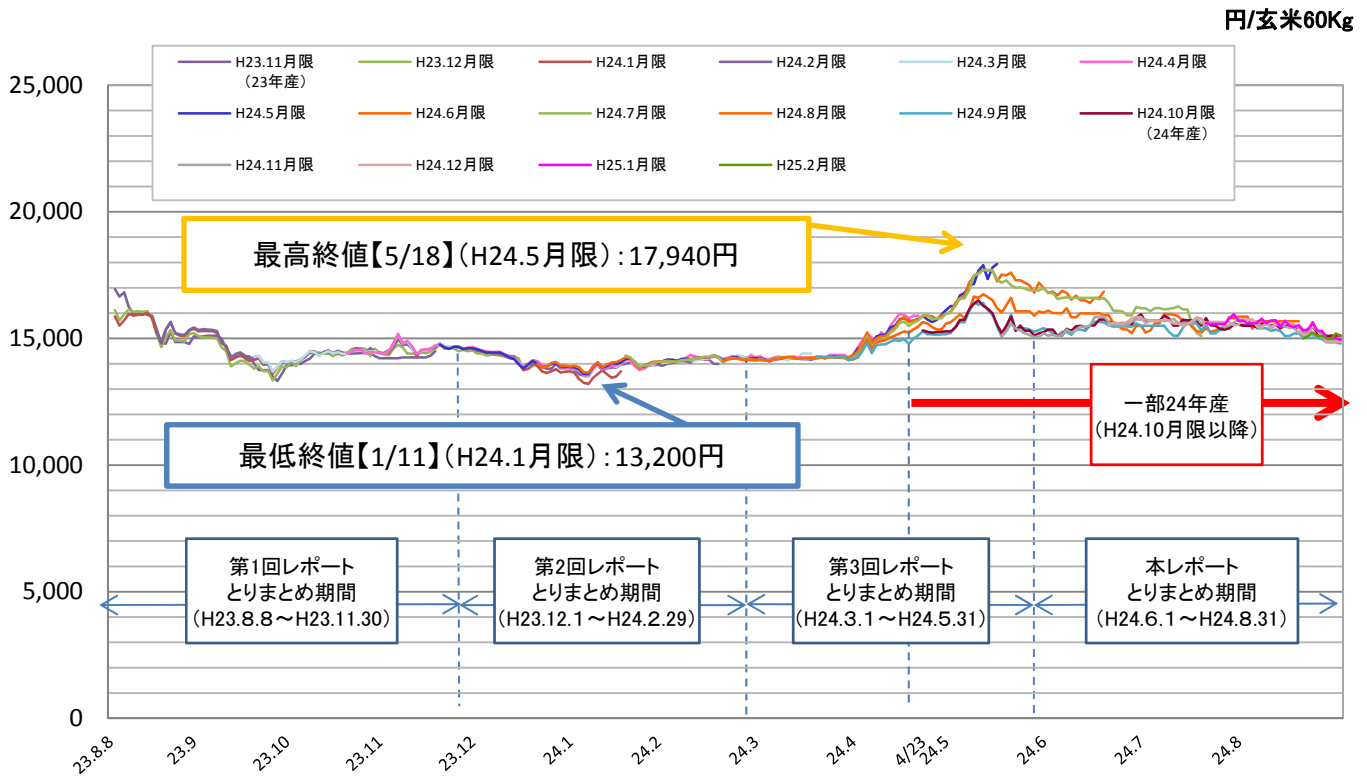
- 平成23年3月8日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
- 平成23年7月1日 ・米の試験上場の認可
- 平成23年8月8日 ・取引開始(2年間)
- 平成23年11月10日 ・関西商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、14枚(42トン)の現物受渡し
- 平成23年11月18日 ・東京穀物商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、16枚(96トン)の現物受渡し
- 平成23年12月13日 ・第1回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年1月4日 ・東京穀物商品取引所が値幅制限(サーキット・ブレーカー)の運用方法を変更(1日に許容する値動き幅を縮小等)
- 平成24年3月19日 ・第2回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年3月30日 ・関西商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定
- 平成24年4月1日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100bq/kgとすることを決定(参考資料P52)  
・東京穀物商品取引所が米の先物取引における受渡地を拡大(参考資料P54)  
・東京穀物商品取引所が米の先物取引の現物受渡し方法の柔軟化として、合意早受渡し制度を導入(参考資料P55)
- 平成24年4月9日 ・東京穀物商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産新穀)の価格調整表を制定
- 平成24年5月29日 ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表(参考資料P58)  
〔平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所(東京商品取引所に)名称変更の予定)に、米を関西商品取引所に移管〕
- 平成24年6月20日 ・関西商品取引所が平成25年1月限～3月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P59)  
・第3回米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート公表
- 平成24年7月6日 ・東京穀物商品取引所が平成25年1月限～3月限(24年産新穀)の価格調整表を制定(参考資料P59)

# 1. 米先物取引の試験上場の現状

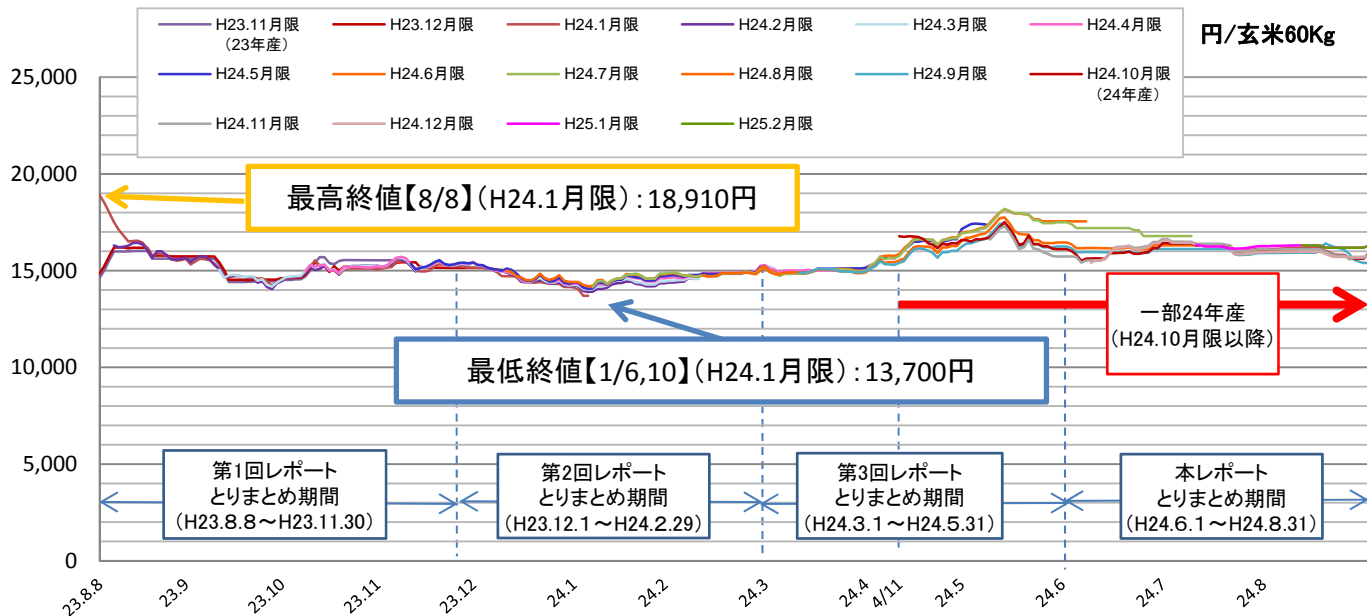
# (1) 取引価格の動向

## ①-1 取引価格の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

### ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



### イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

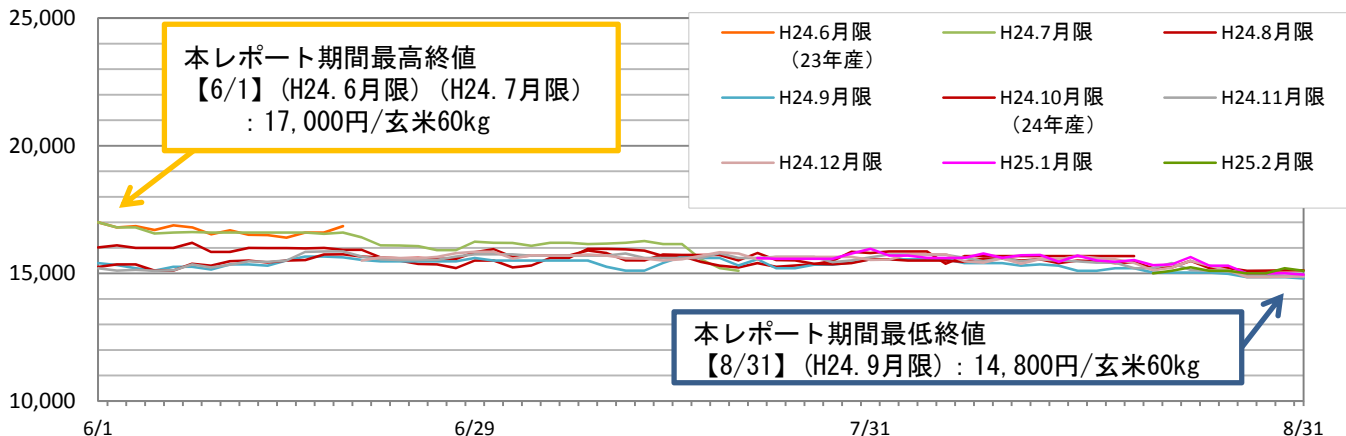


- 注1：価格は、平成23年8月8日から平成24年8月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。
- 注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。
- 注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。
- 注4：H23.11月限～H24.9月限までは23年産米、H24.10月限以降は24年産米を標準品として取引。

①-2 取引価格の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値

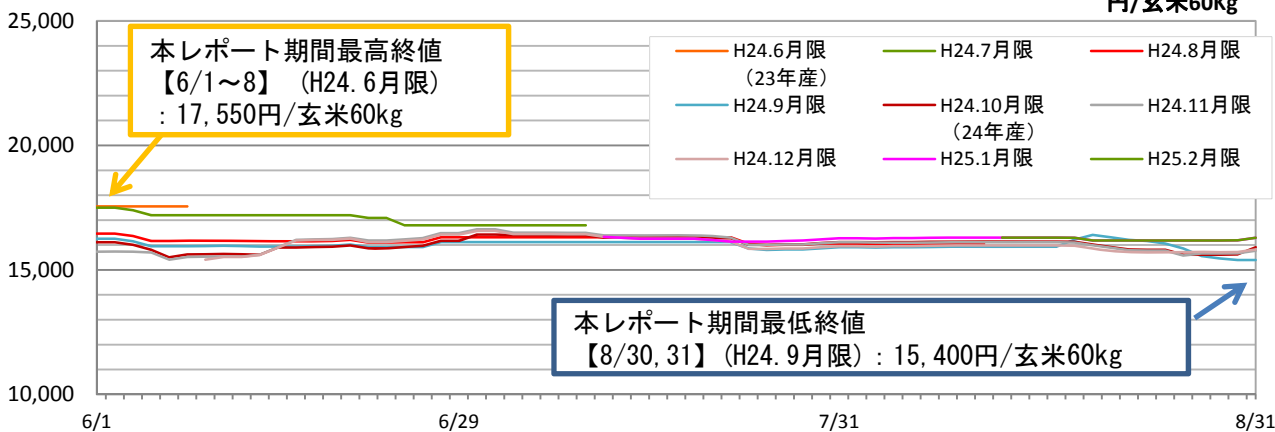
円/玄米60kg



	6月1日	6月29日	7月31日	8月31日	最高(年月日)	最低(年月日)	
23年産	H24.6月限	17,000			17,000(24.6.1)	16,400(24.6.15)	
	H24.7月限	17,000	16,240		17,000(24.6.1)	15,100(24.7.20)	
	H24.8月限	16,020	15,500	15,800	16,200(24.6.8)	15,210(24.6.28)	
	H24.9月限	15,400	15,600	15,550	15,660(24.6.18・19.7.17)	14,800(24.8.31)	
24年産	H24.10月限	15,250	15,830	15,550	15,950(24.7.2)	15,100(24.8.28)	
	H24.11月限	15,200	15,750	15,630	15,860(24.6.19・20)	14,900(24.8.30・31)	
	H24.12月限		15,850	15,530	15,850(24.6.29.7.2)	14,850(24.8.28・29)	
	H25.1月限			15,960	14,950	15,960(24.7.31)	14,950(24.8.31)
	H25.2月限				15,100	15,240(24.8.23)	15,000(24.8.21・28・29)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

円/玄米60kg



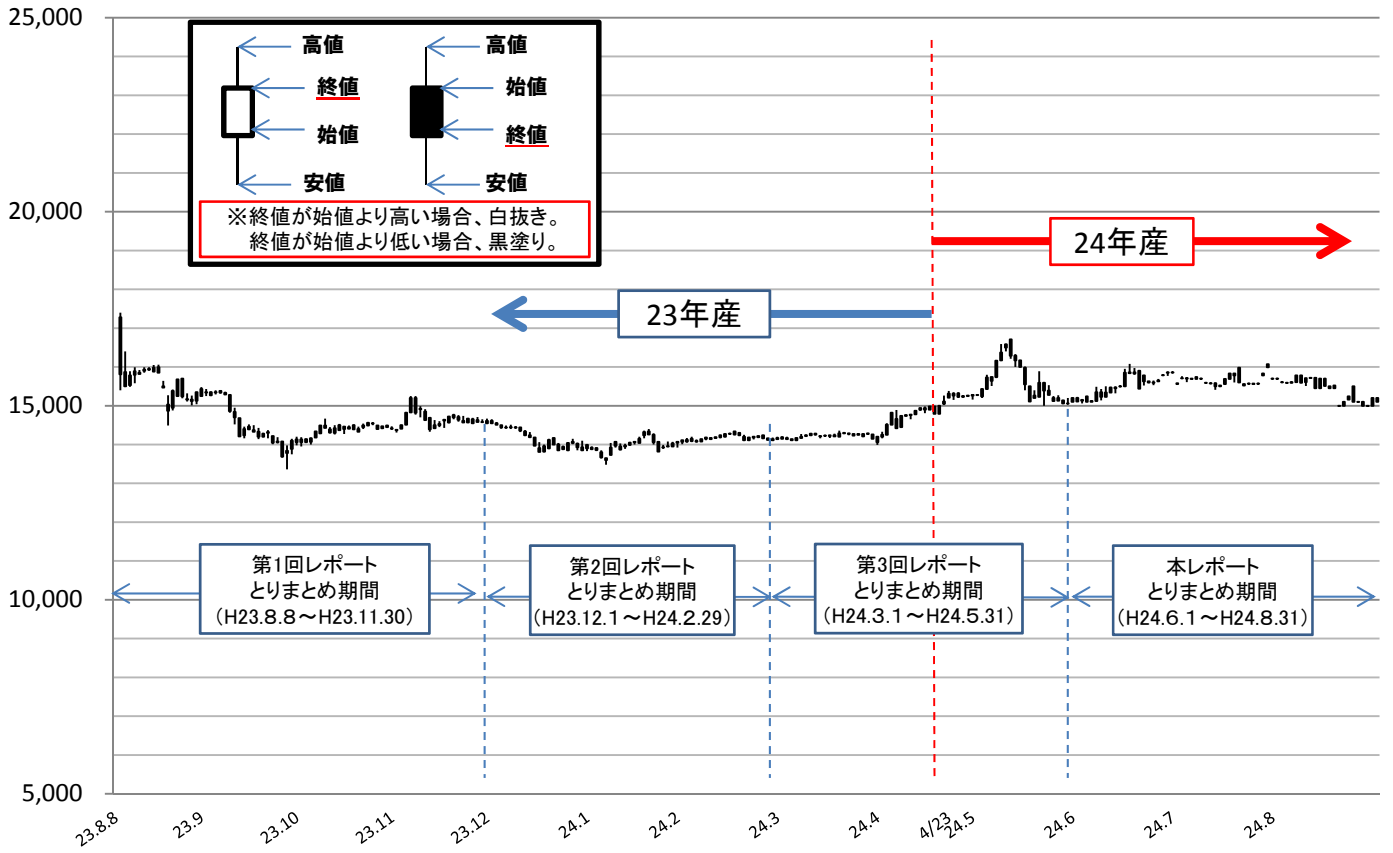
	6月1日	6月29日	7月31日	8月31日	最高(年月日)	最低(年月日)	
23年産	H24.6月限	17,550			17,550(24.6.1~8)	17,550(24.6.1~8)	
	H24.7月限	17,500	16,790		17,500(24.6.1・4)	16,790(24.6.26~7.10)	
	H24.8月限	16,460	16,310	16,060	16,460(24.6.1・4)	15,990(24.7.25)	
	H24.9月限	16,250	16,120	15,910	15,400	16,410(24.8.20)	15,400(24.8.30・31)
24年産	H24.10月限	16,110	16,170	16,120	15,910	16,420(24.7.2・3)	15,510(24.6.7)
	H24.11月限	15,730	16,480	16,110	15,770	16,630(24.7.2・3)	15,410(24.6.7)
	H24.12月限		16,420	15,950	15,820	16,570(24.7.2・3)	15,410(24.6.11)
	H25.1月限			16,270	16,290	16,330(24.7.11)	16,140(24.7.23~25)
	H25.2月限				16,290	16,300(24.8.13~16)	16,180(24.8.20~29)

注：価格は、平成24年6月1日から平成24年8月31日までの終値。ただし、東京穀物商品取引所の場合、終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

②-1 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

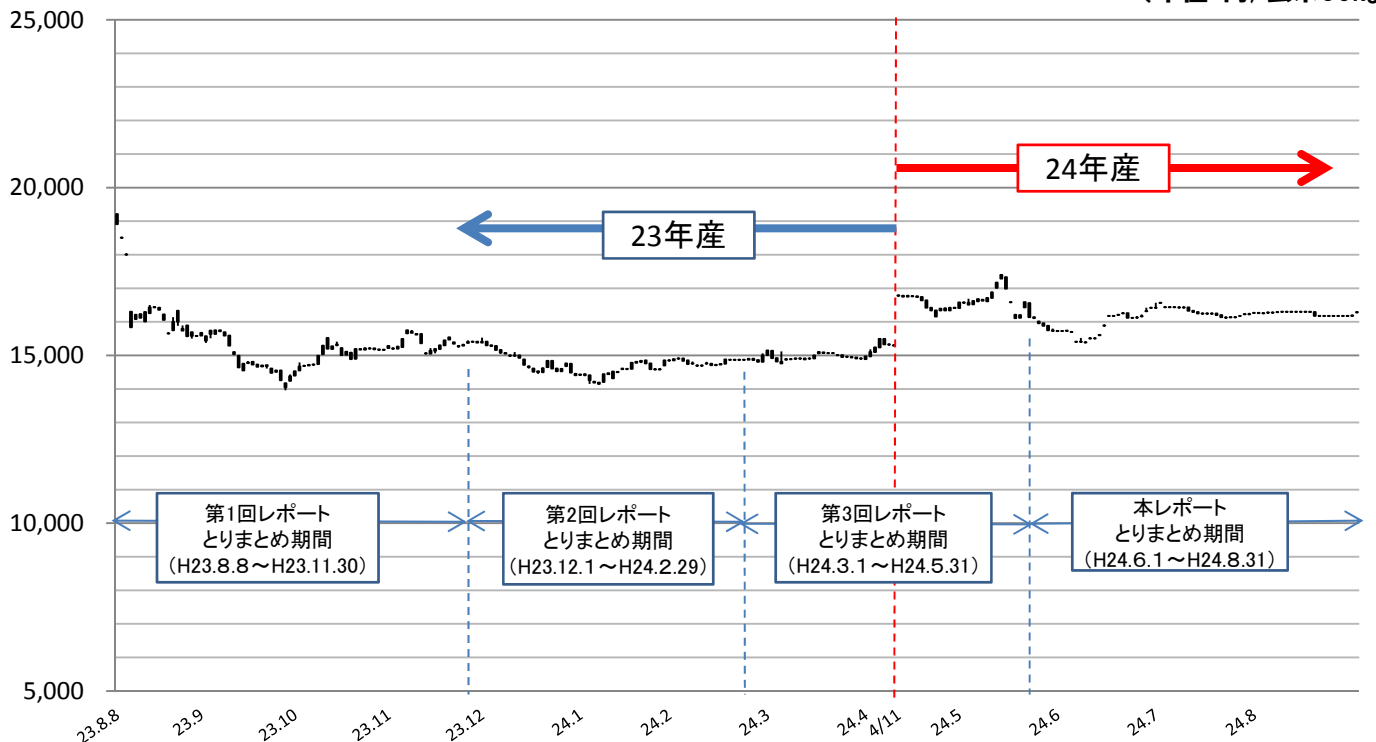
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

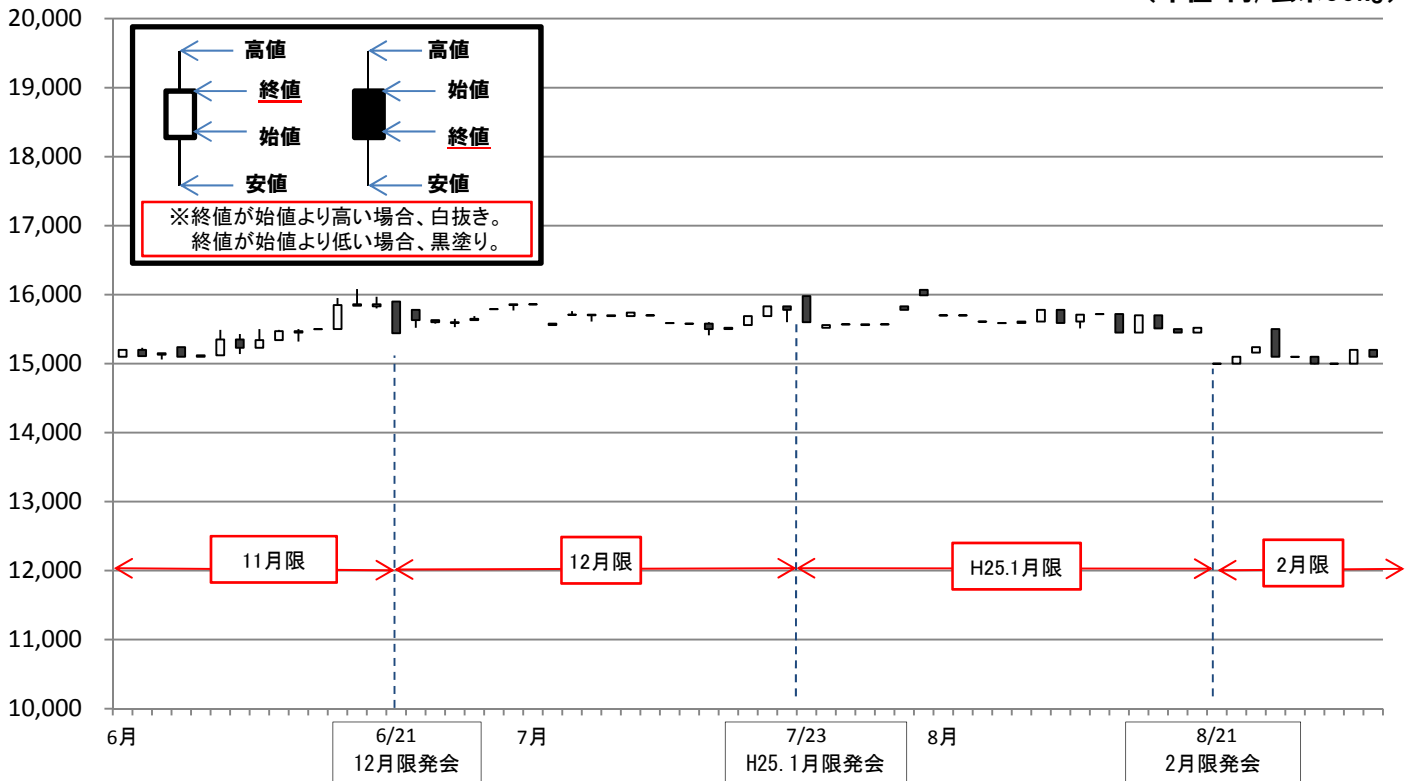




②-2 日々の始値、高値、安値、終値の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

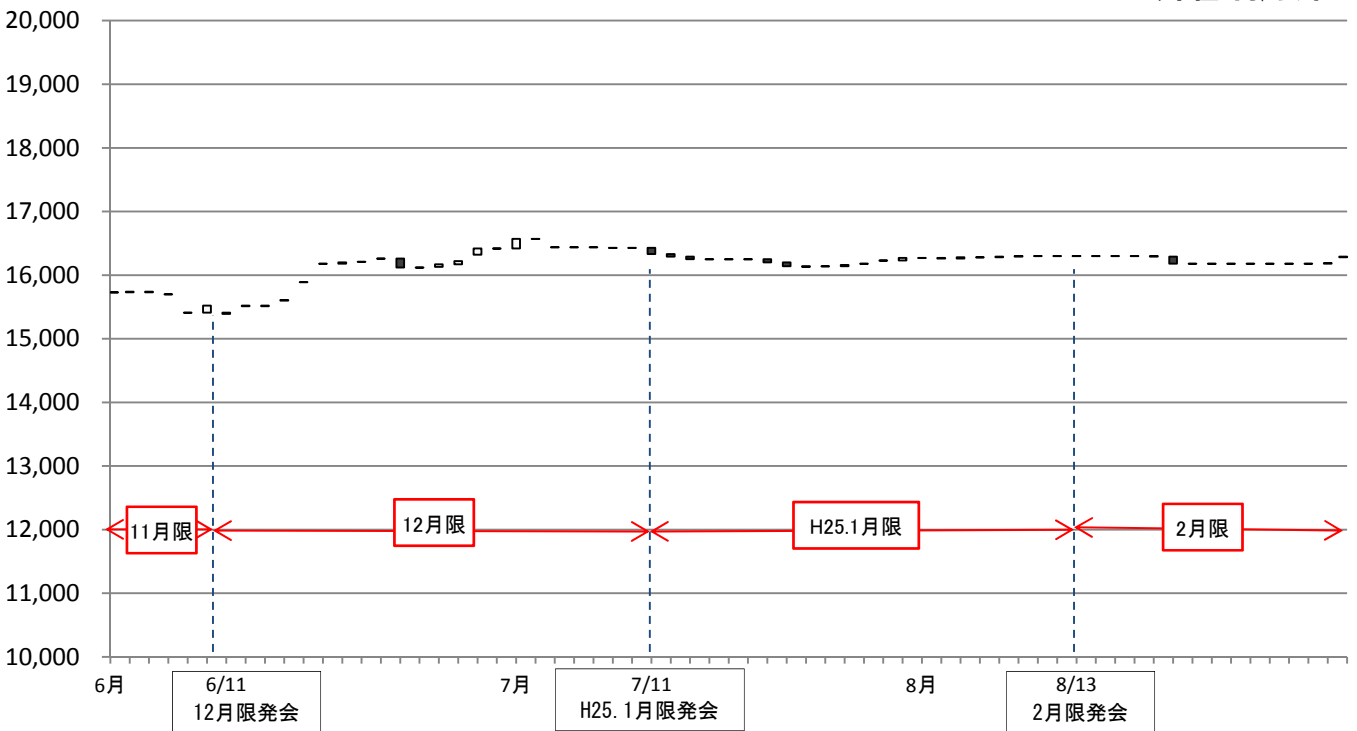
ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

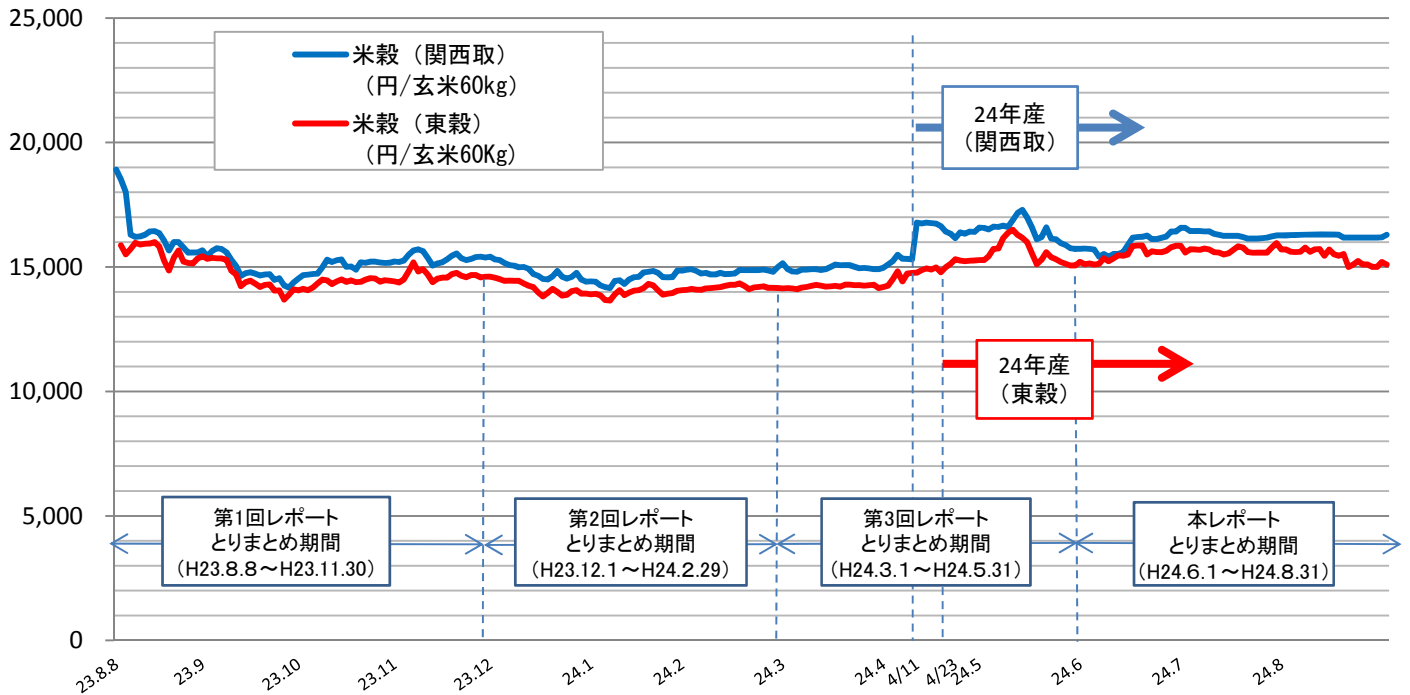


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の始値(東穀の場合、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。関西取の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京穀物商品取引所の場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

(参考) 東京穀物商品取引所・関西商品取引所の米穀の値動き(期先限月の終値)

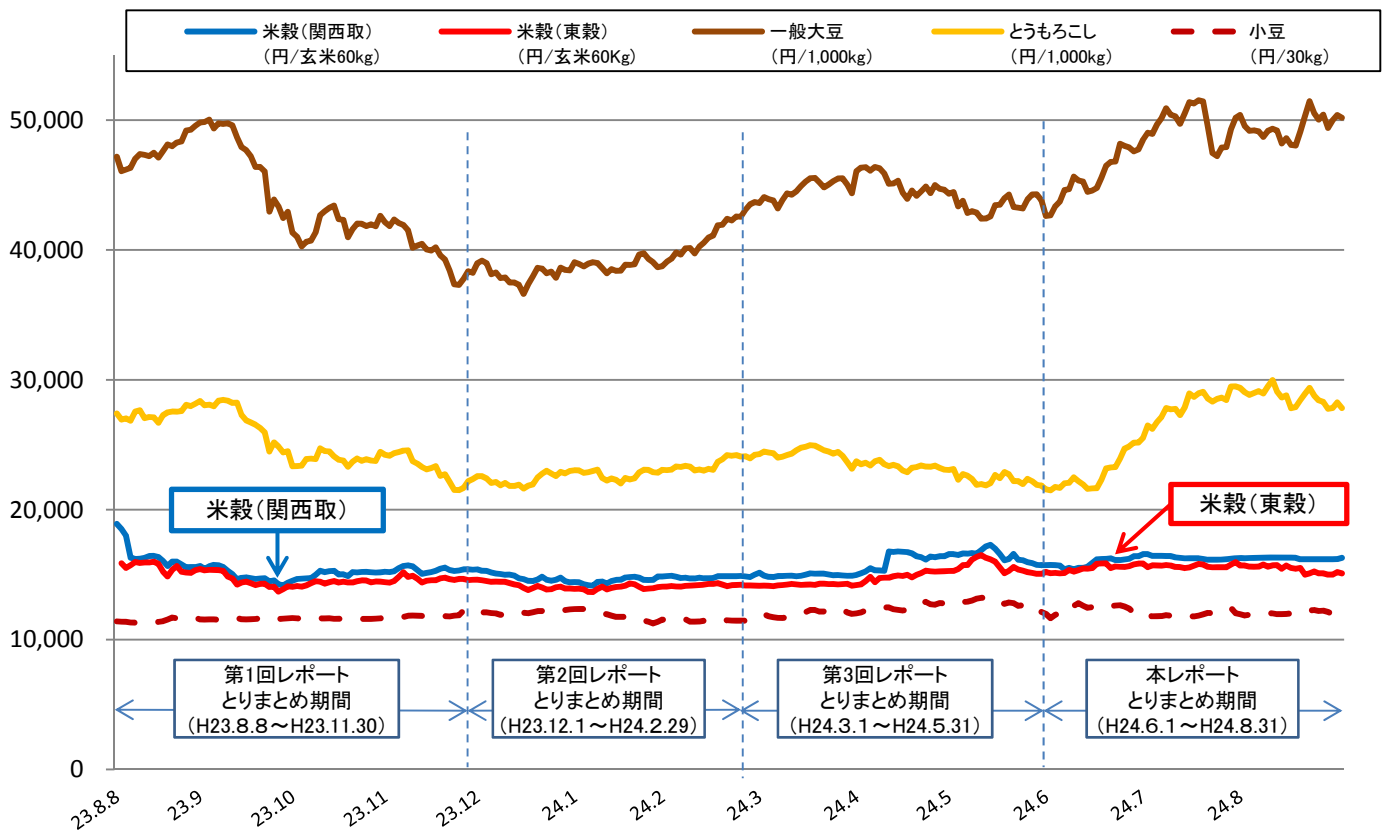
【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:円/玄米60kg)



(参考) 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の値動き(期先限月の終値)

(単位:円)



注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

③ 値幅制限等の発動状況【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

ア 東京穀物商品取引所(サーキットブレーカー(CB))

年月(営業日数)	発動数	発動日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	68回	13日	3.78
9月(20日)	8回	8日	0.40
10月(20日)	2回	2日	0.10
11月(20日)	5回	5日	0.25
12月(21日)	1回	1日	0.05
平成24年1月(19日)	7回	2日	0.37
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	27回	10日	1.35
5月(21日)	41回	15日	1.95
6月(21日)	10回	9日	0.48
7月(21日)	11回	10日	0.52
8月(23日)	7回	7日	0.30

(注)平成24年1月4日より、CB運用方法を変更。

イ 関西商品取引所(値幅制限)

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	19回	9日	1.06
9月(20日)	12回	6日	0.60
10月(20日)	10回	5日	0.50
11月(20日)	2回	2日	0.10
12月(21日)	0回	0日	0.00
平成24年1月(19日)	0回	0日	0.00
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	8回	3日	0.40
5月(21日)	10回	5日	0.48
6月(21日)	4回	4日	0.19
7月(21日)	0回	0日	0.00
8月(23日)	1回	1日	0.04

注1:東京穀物商品取引所は、平成23年12月30日まではサーキットブレーカー(CB)発動回数。平成24年1月4日以降は、CBの運用方法の変更により、CBが発動した限月数。関西商品取引所は、終値が値幅制限に張り付いた限月数。

注2:東京穀物商品取引所のCBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の過熱を抑える仕組み。平成24年8月31日現在では、東京穀物商品取引所の1日の値幅は、最大で±600円/60kg以内。

注3:東京穀物商品取引所では、平成23年12月30日までは、1つの限月でCBが発動された場合、自動的に全ての限月でCBが発動されていたが、平成24年1月4日からは、値段が±600円(ただし、1回目は±300円)上昇又は下降した限月に限定してCBが発動する方式に変更。併せて、取引の停止時間を10分間から5分間に短縮。

注4:関西商品取引所の値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成24年8月31日現在では、関西商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)

注5:両取引所ともにCB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。

④ 各限月別の発会値段、最高値段、最低値段、納会・8月末値段

ア 東京穀物商品取引所(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・8月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	8月末現在値段 (年月日)
23年11月限	17,400 (23.08.09)	17,730 (23.08.10)	13,320 (23.09.29)	14,500 (23.11.18)	取引終了
23年12月限	17,400 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,200 (23.09.29)	13,900 (23.12.20)	取引終了
24年1月限	17,280 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,120 (24.01.11)	13,700 (24.01.20)	取引終了
24年2月限	15,500 (23.08.22)	15,700 (23.08.26)	13,350 (23.09.29)	14,000 (24.02.20)	取引終了
24年3月限	14,200 (23.09.21)	15,240 (23.11.09)	13,360 (23.09.29)	14,410 (24.03.19)	取引終了
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,980 (24.04.16・17)	13,380 (24.01.11)	15,900 (24.04.20)	取引終了
24年5月限	14,700 (23.11.21)	17,940 (24.05.17・18)	13,440 (24.01.11)	17,940 (24.05.18)	取引終了
24年6月限	14,170 (23.12.21)	17,900 (24.05.15)	13,480 (24.01.11)	16,850 (24.06.20)	取引終了
24年7月限	14,240 (24.01.23)	17,700 (24.05.16,17)	13,820 (24.01.26)	15,100 (24.07.20)	取引終了
24年8月限	14,200 (24.02.21)	16,940 (24.05.16)	14,090 (24.03.07,24.04.02)	15,680 (24.08.20)	取引終了
24年9月限	14,200 (24.03.21)	16,690 (24.05.14)	13,990 (24.04.02)	取引継続中	14,800 (24.08.31)
24年10月限	15,210 (24.04.23)	16,710 (24.05.15)	15,100 (24.06.07・11, 24.08.28)	取引継続中	15,120 (24.08.31)
24年11月限	15,500 (24.05.21)	16,080 (24.06.19)	14,900 (24.08.30・31)	取引継続中	14,900 (24.08.31)
24年12月限	15,900 (24.06.21)	15,900 (24.06.21)	14,850 (24.08.28・29)	取引継続中	14,880 (24.08.31)
25年1月限	15,980 (24.07.23)	16,070 (24.07.31)	14,900 (24.08.31)	取引継続中	14,900 (24.08.31)
25年2月限	15,000 (24.08.21)	15,500 (24.08.24)	14,990 (24.08.28)	取引継続中	15,100 (24.08.31)
全期間		17,940 (24.05.17・18)	13,120 (24.01.11)		

: 全レポート期間最高値

: 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

注2:また、納会・8月末値段は、平成24年8月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限～平成24年8月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年9月限～平成25年2月限(青塗り)については平成24年8月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

イ 関西商品取引所(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会・8月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	8月末現在値段 (年月日)
23年11月限	14,320 (23.08.08)	16,060 (23.08.17)	14,320 (23.08.08)	15,540 (23.11.10)	取引終了
23年12月限	14,540 (23.08.08)	16,240 (23.08.11)	14,500 (23.09.21・22)	15,040 (23.12.09)	取引終了
24年1月限	19,210 (23.08.08)	19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)	13,700 (24.01.10)	取引終了
24年2月限	15,840 (23.08.11)	16,500 (23.08.17)	13,860 (23.09.29)	14,580 (24.02.10)	取引終了
24年3月限	15,100 (23.09.12)	15,740 (23.11.08)	13,960 (23.09.29)	14,930 (24.03.09)	取引終了
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.08・09)	14,070 (24.01.10・11)	15,610 (24.04.10)	取引終了
24年5月限	15,640 (23.11.11)	17,440 (24.05.08)	14,060 (24.01.10・11)	17,390 (24.05.10)	取引終了
24年6月限	14,990 (23.12.12)	18,460 (24.05.17)	14,150 (24.01.06)	17,550 (24.6.08)	取引終了
24年7月限	14,190 (24.01.11)	18,480 (24.05.17)	14,140 (24.01.11)	16,790 (24.7.10)	取引終了
24年8月限	14,760 (24.02.13)	17,800 (24.05.17)	14,710 (24.02.14・15)	16,050 (24.8.10)	取引終了
24年9月限	14,910 (24.03.12)	17,500 (24.05.17)	14,880 (24.03.13)	取引継続中	15,400 (24.08.31)
24年10月限	16,790 (24.04.11)	17,550 (24.05.17)	15,510 (24.06.07・08)	取引継続中	15,910 (24.08.31)
24年11月限	16,710 (24.05.11)	17,400 (24.05.16)	15,400 (24.06.07)	取引継続中	15,770 (24.08.31)
24年12月限	15,390 (24.06.11)	16,570 (24.07.02・03)	15,390 (24.06.11)	取引継続中	15,820 (24.08.31)
25年1月限	16,430 (24.07.11)	16,430 (24.07.11)	16,130 (24.07.24)	取引継続中	16,290 (24.08.31)
25年2月限	16,300 (24.08.13)	16,300 (24.08.13~17)	16,180 (24.08.20~30)	取引継続中	16,290 (24.08.31)
全期間		19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)		

□ : 全レポート期間最高値

□ : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P3に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

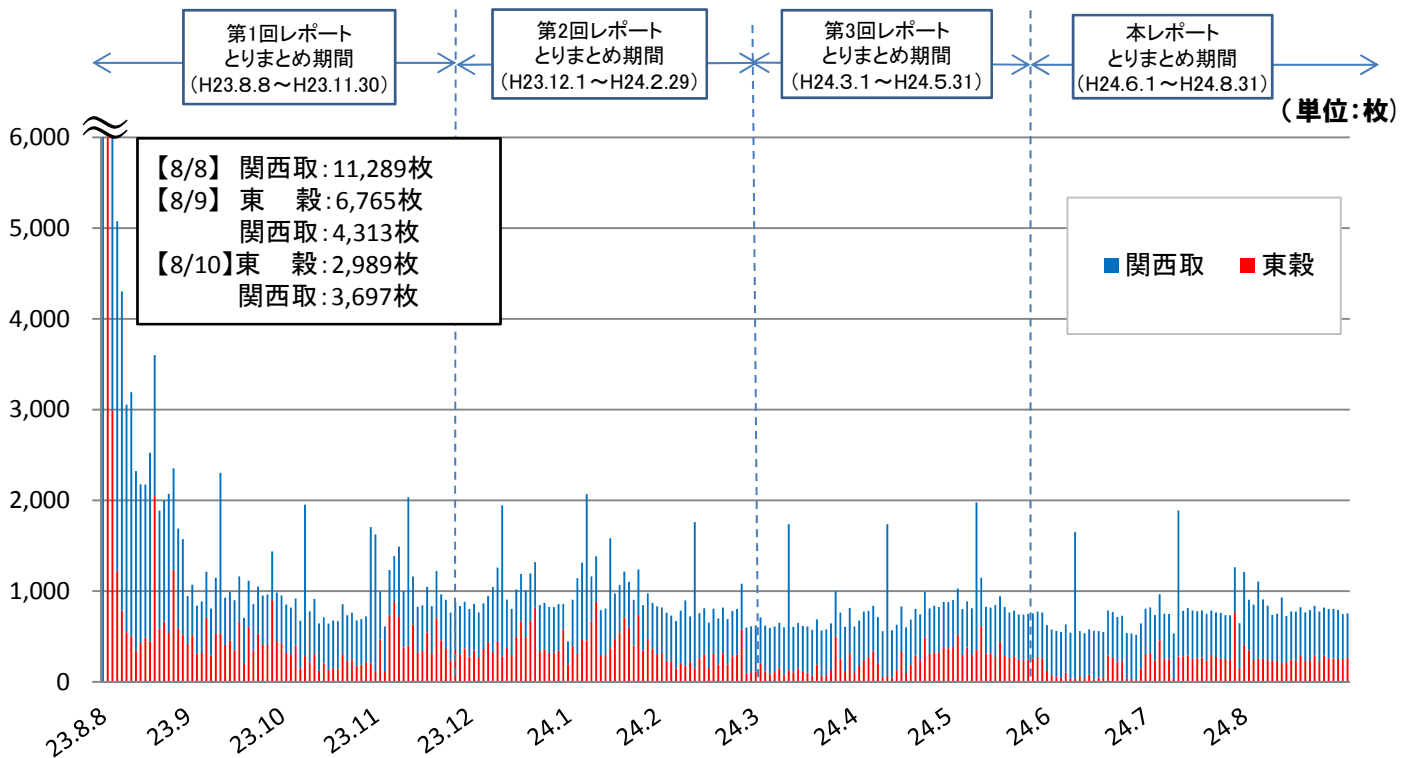
注2:また、納会・8月末値段は、平成24年8月31日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成24年8月限については納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成24年9月限~平成25年2月限(青塗り)については平成24年8月31日現在の終値(ただし、東京穀物商品取引所の場合は、終値又は帳入値。)

## (2) 取引量の動向

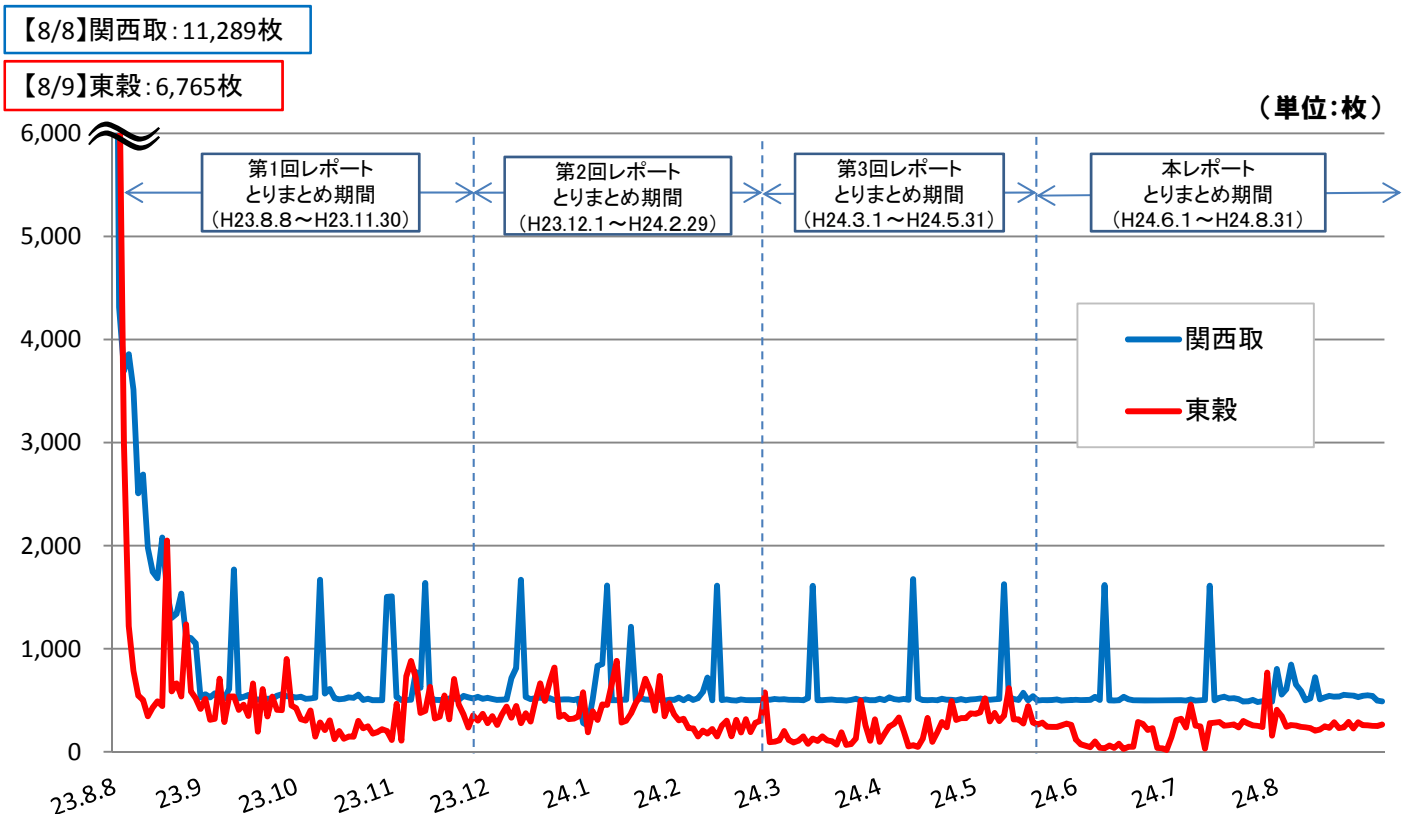
### ①-1 出来高(市場における注文成立数)の推移 【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

#### ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

枚:先物市場での取引単位であり、米穀の場合、東穀は玄米重量で6トン(100俵)で1枚、関西取は玄米重量で3トン(50俵)で1枚。



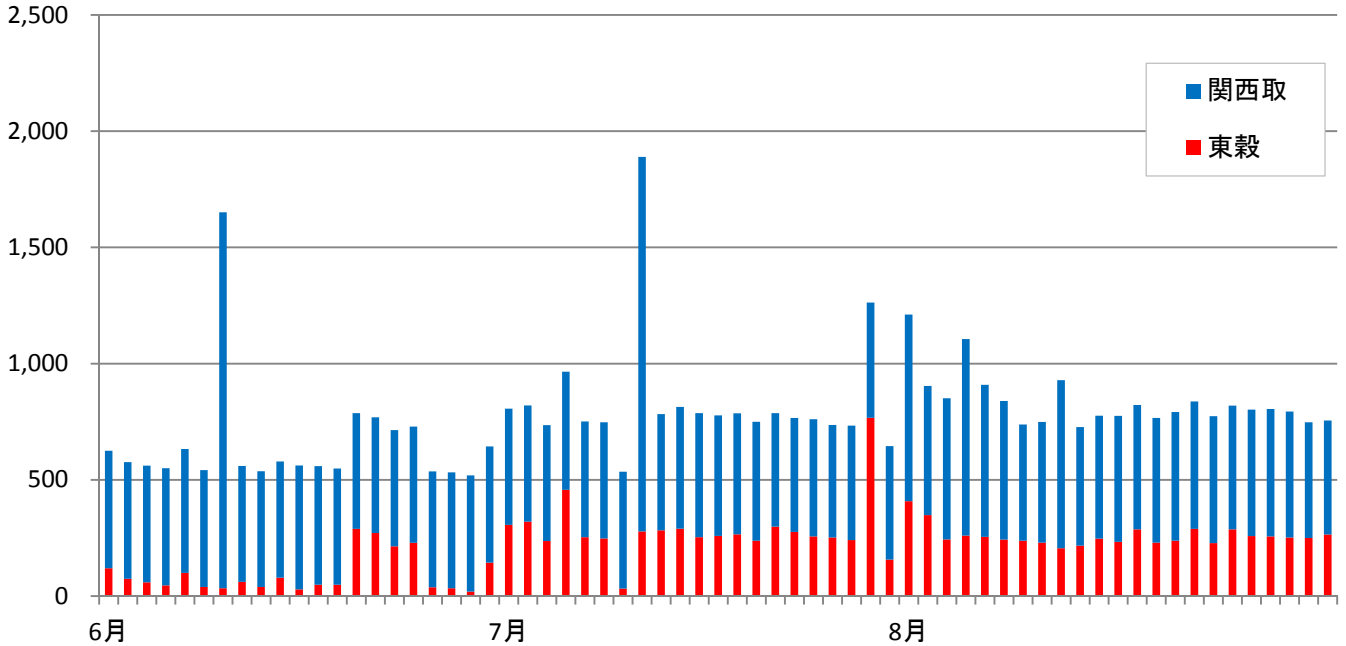
#### イ 取引所別の出来高の推移



①-2 出来高(市場における注文成立数)の推移【平成24年6月1日～平成24年8月31日】

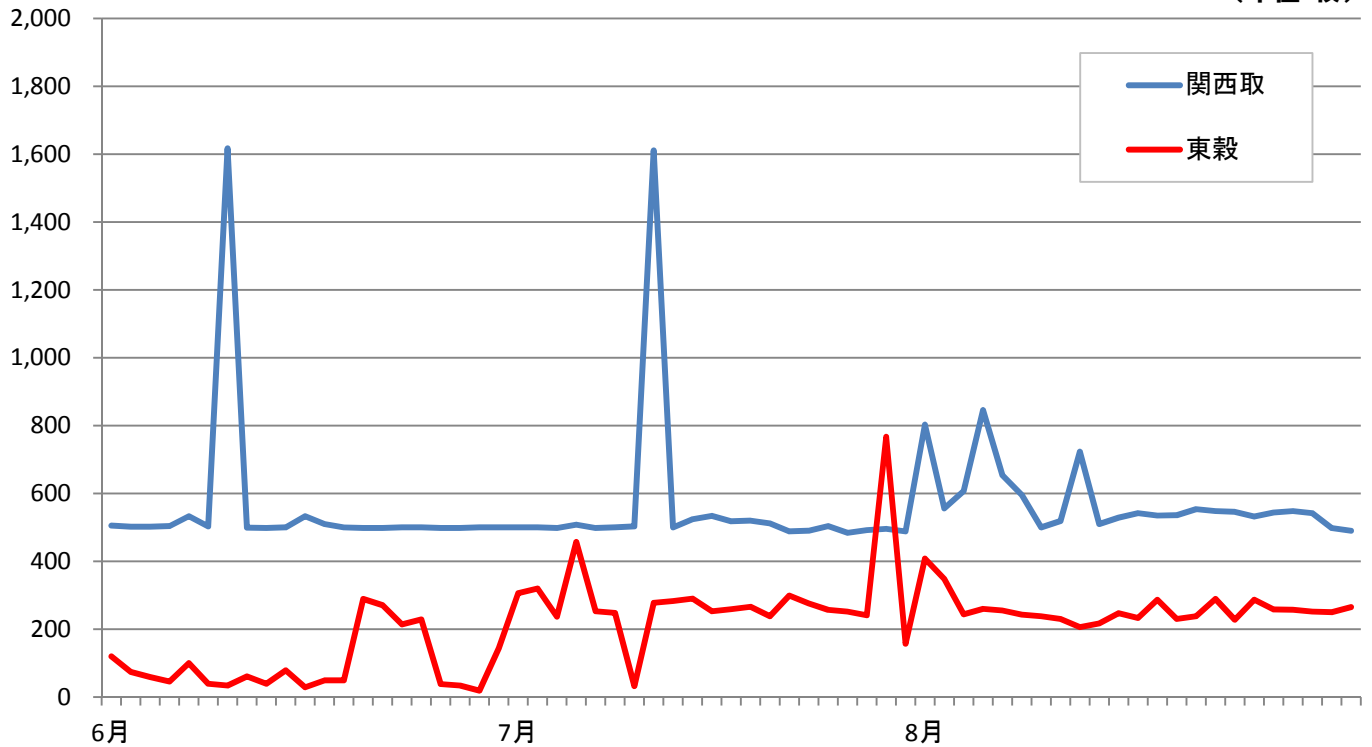
ア 出来高の推移(東穀、関西取合計)

(単位:枚)



イ 取引所別の出来高の推移

(単位:枚)



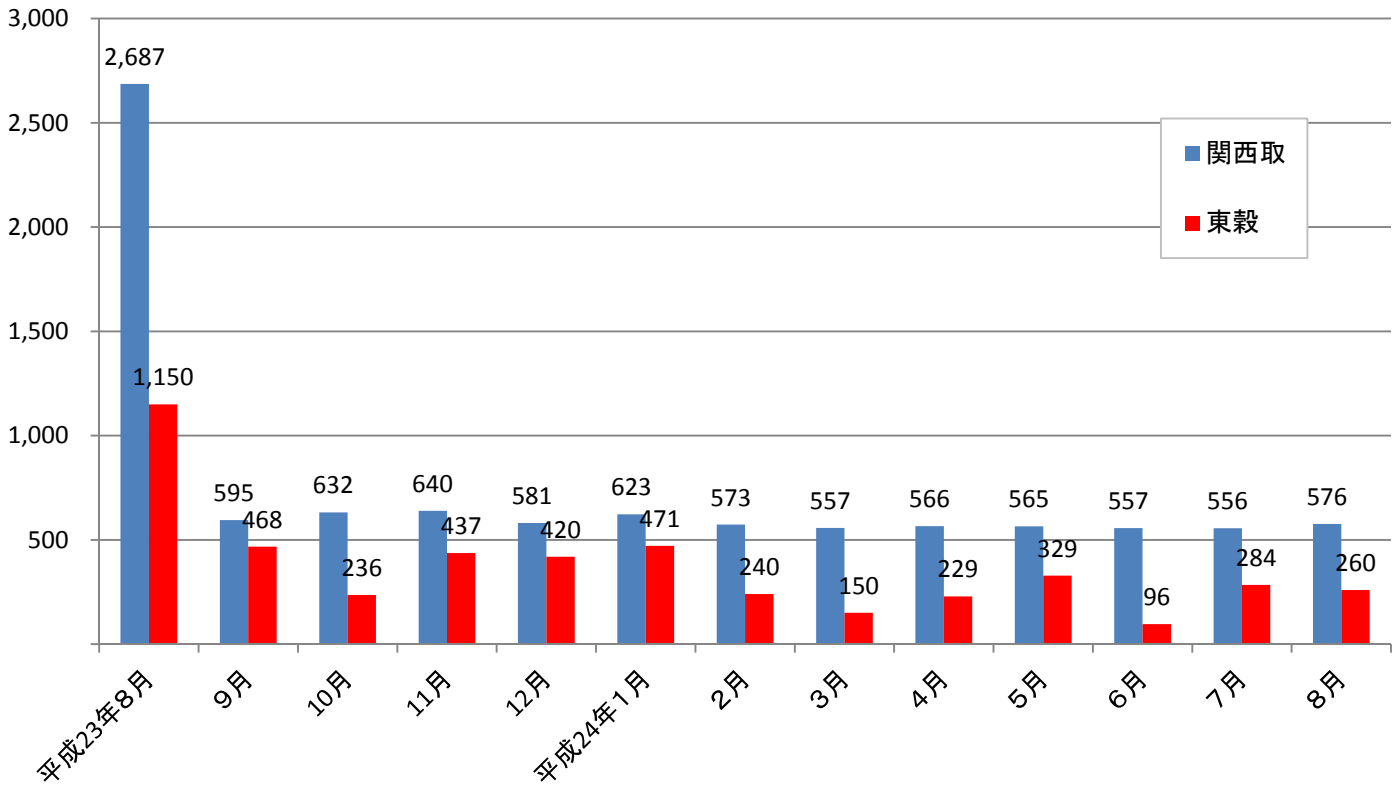
(参考)

標準品：東京穀物商品取引所は、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。関西商品取引所は、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施（東京穀物商品取引所・関西商品取引所ともに玄米1等合格品。）

限月：両取引所ともに、受渡月の異なる6限月（例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。）の米穀を取引。最長6ヶ月先（平成24年8月31日現在では、9月限、10月限、11月限、12月限、1月限、2月限が上場。）の限月の米穀を取引。

② 1日の平均出来高(市場における注文成立数)の推移【平成23年8月～平成24年8月】

(単位:枚)



注:取引枚数1枚は、東京穀物商品取引所では6トン(玄米)、関西商品取引所では3トン(玄米)。



③ 他の主要商品と米穀の出来高合計の比較【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

ア 東京穀物商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年8月31日(266営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	94,916	357	6,765	0
とうもろこし	816,922	3,071	12,738	693
一般大豆	789,567	2,968	14,641	804
小豆	112,118	421	1,839	55
アラビカコーヒー	5,938	22	239	0
粗糖	32,768	123	1,584	4

【6月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	2,016	96	289	19
とうもろこし	62,367	2,970	6,509	985
一般大豆	68,178	3,247	7,041	1,202
小豆	10,248	488	1,497	55
アラビカコーヒー	192	9	51	0
粗糖	1,116	53	150	19

【7月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	5,969	284	767	32
とうもろこし	160,143	7,626	12,738	4,198
一般大豆	159,827	7,611	14,641	3,794
小豆	5,039	240	574	78
アラビカコーヒー	52	2	13	0
粗糖	1,811	86	301	21

【8月(23営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	5,970	260	408	206
とうもろこし	140,807	6,122	11,423	3,120
一般大豆	75,380	3,277	5,696	1,749
小豆	3,244	141	312	61
アラビカコーヒー	122	5	69	0
粗糖	838	36	82	9

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年8月31日までの期間及び平成24年6月～平成24年8月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

## イ 関西商品取引所

【平成23年8月8日～平成24年8月31日(266営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	193,291	727	11,289	254
とうもろこし	54,586	205	304	99
米国産大豆	3,173	12	12	6
小豆	7,586	29	374	6
粗糖	3,174	12	12	6
冷凍えび	3,167	12	12	6
国際穀物等指数	3,174	12	12	6

【6月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,698	557	1,617	498
とうもろこし	4,281	204	204	201
米国産大豆	251	12	12	11
小豆	376	18	18	16
粗糖	252	12	12	12
冷凍えび	251	12	12	11
国際穀物等指数	252	12	12	12

【7月(21営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	11,668	556	1,611	484
とうもろこし	4,306	205	226	204
米国産大豆	252	12	12	12
小豆	732	35	374	16
粗糖	251	12	12	11
冷凍えび	251	12	12	11
国際穀物等指数	251	12	12	11

【8月(23営業日)】

(単位:枚)

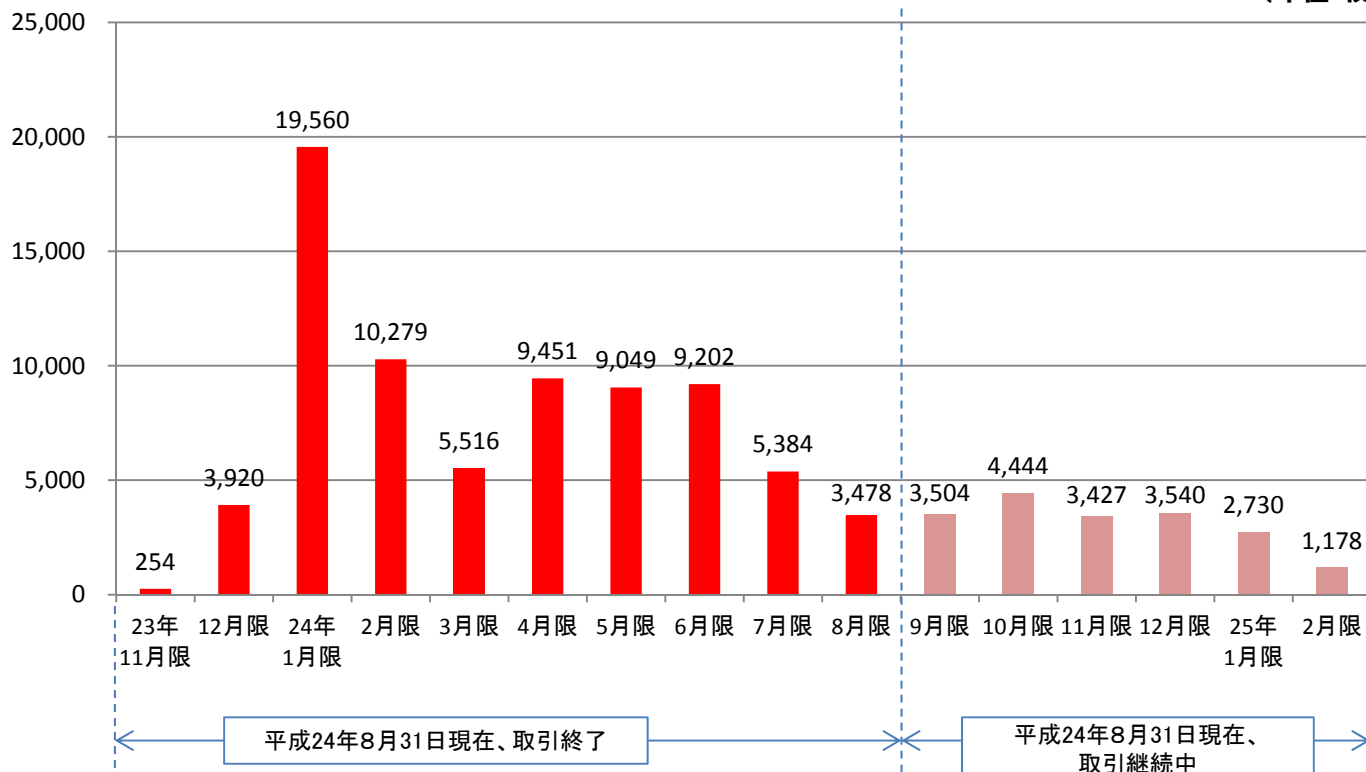
	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,258	576	846	490
とうもろこし	4,689	204	204	201
米国産大豆	275	12	12	11
小豆	412	18	18	16
粗糖	276	12	12	12
冷凍えび	275	12	12	11
国際穀物等指数	276	12	12	12

注:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成24年8月31日までの期間及び平成24年6月～平成24年8月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

④ 限月別の出来高状況(各限月の発会日～平成24年8月31日までの累積値)

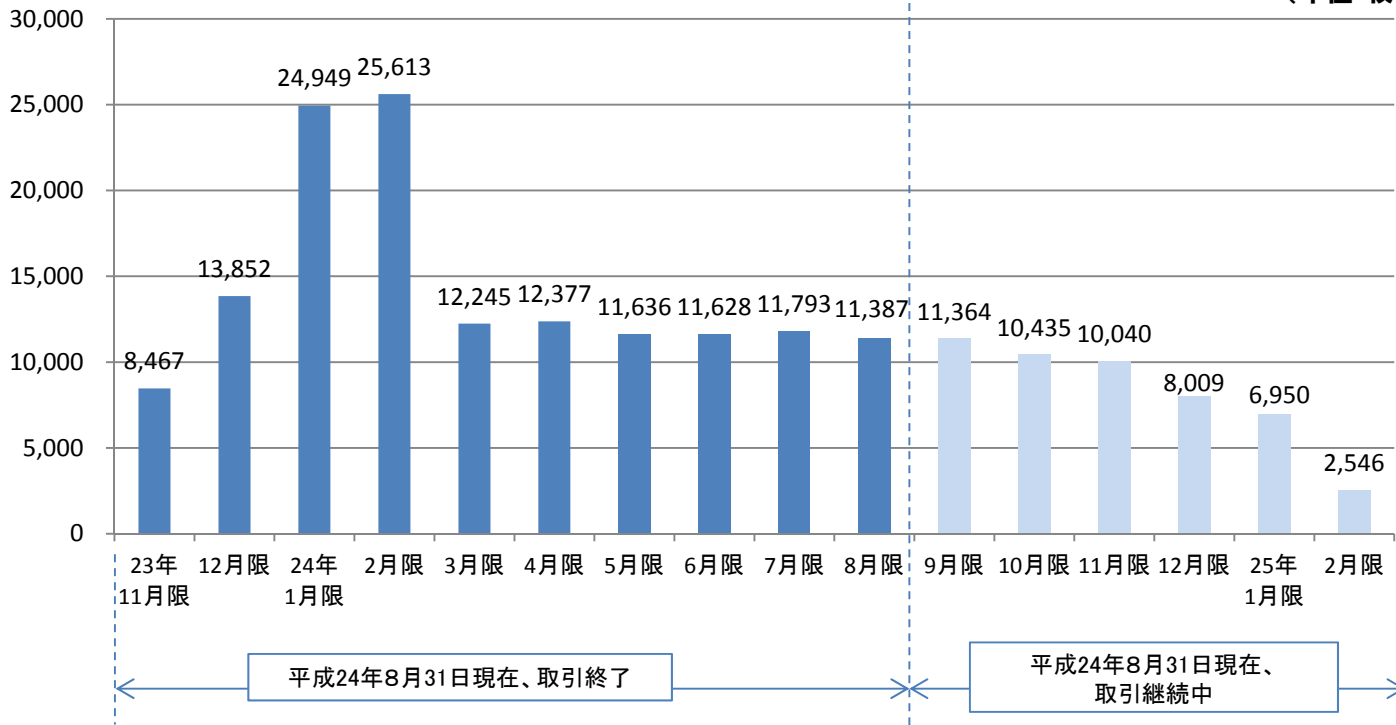
ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)



イ 関西商品取引所

(単位:枚)

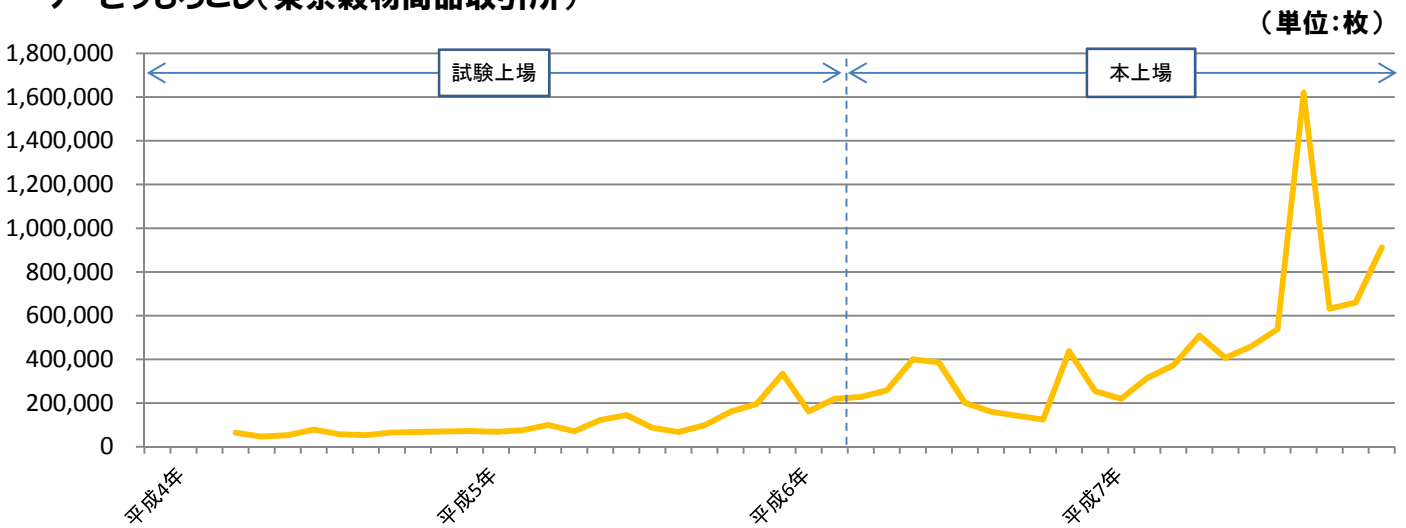


注1:平成24年9月限～平成25年2月限については、平成24年8月31日現在、取引中であるため、各限月の発会日(東京穀物商品取引所は毎月21日、関西商品取引所は毎月11日(休業日の場合は繰り下げ。))から平成24年8月31日までの各限月の出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2:平成23年11月限～平成24年8月限については、すでに取引が終了しているため、各限月の発会日から納会日(東京穀物商品取引所は毎月20日、関西商品取引所は毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))までの出来高の累積値。

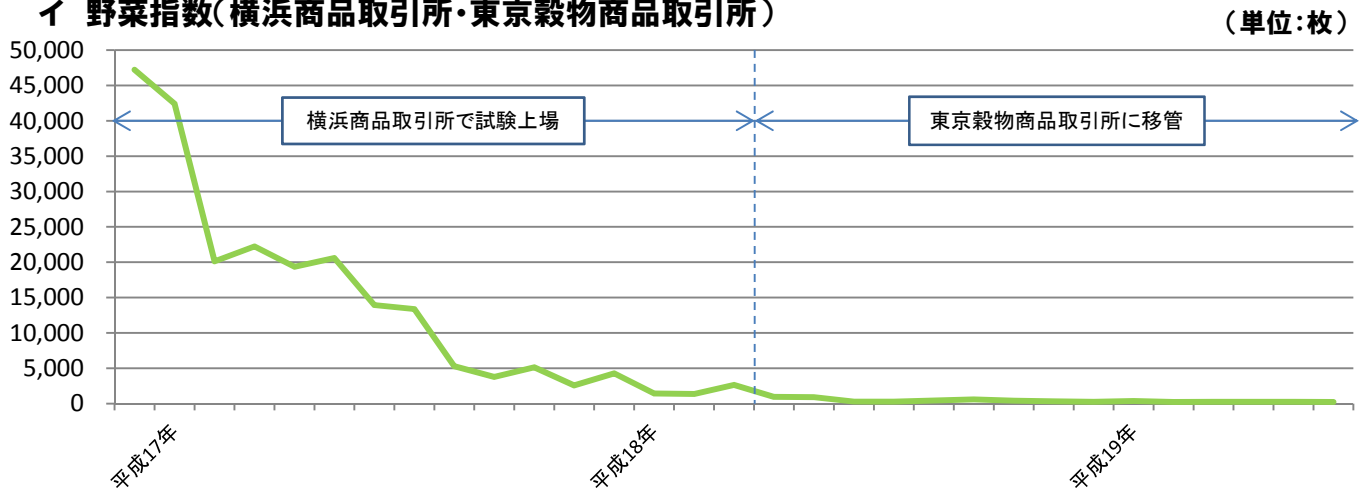
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア どうもろこし(東京穀物商品取引所)



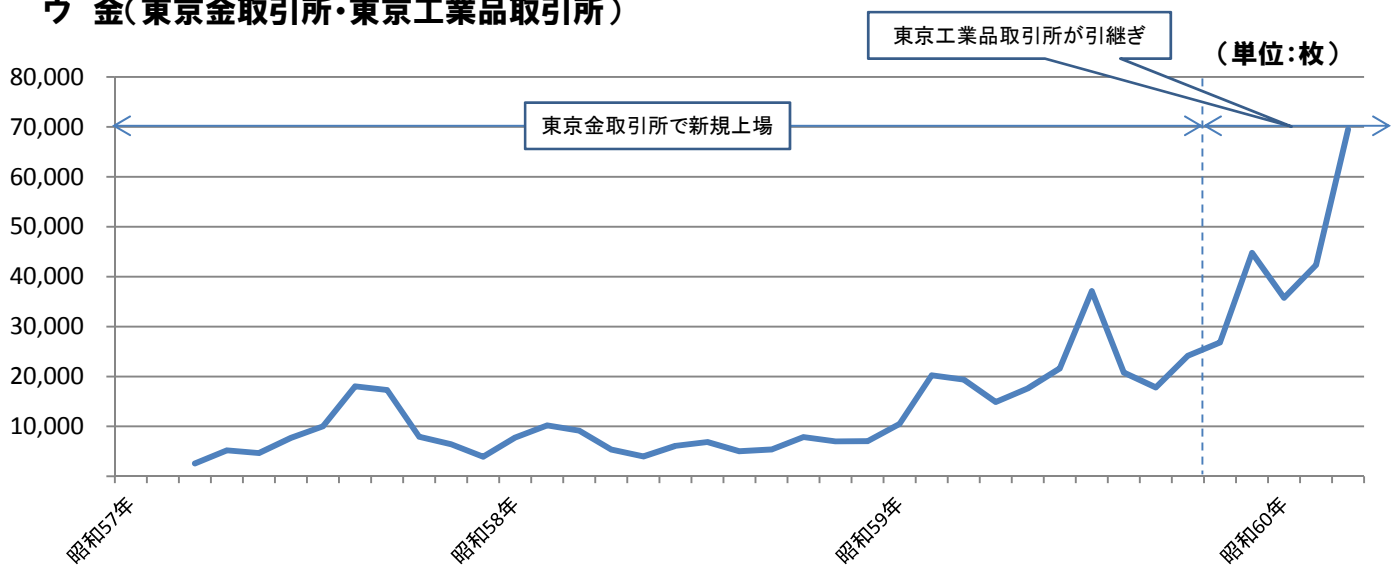
注:平成4年4月に試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

ウ 金(東京金取引所・東京工業品取引所)



注:昭和57年3月に東京金取引所で新規上場し、昭和59年11月に東京繊維商品取引所・東京ゴム取引所・東京金取引所の統合により設立された東京工業品取引所に引き継がれている。

資料: 社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

⑤ 海外からの取引参加状況(東京穀物商品取引所)

(単位:枚)

		米国	シンガポール	合計
平成23年8月	売	86	128	214
	買	39	128	167
9月	売	51	0	51
	買	44	0	44
10月	売	0	0	0
	買	37	0	37
11月	売	0	0	0
	買	11	0	11
12月	売	0	0	0
	買	6	0	6
平成24年1月	売	0	0	0
	買	0	0	0
2月	売	0	0	0
	買	0	0	0
3月	売	0	0	0
	買	1	0	1
4月	売	0	0	0
	買	0	0	0
5月	売	0	0	0
	買	0	0	0
6月	売	0	0	0
	買	0	0	0
7月	売	0	0	0
	買	0	0	0

注1:東京穀物商品取引所において取引を行っている海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、取引所において把握している者の出来高である。

注2:関西商品取引所においては、平成24年8月31日現在、海外の商品先物取引業者のうち、取引所において把握している者の取引実績はない。

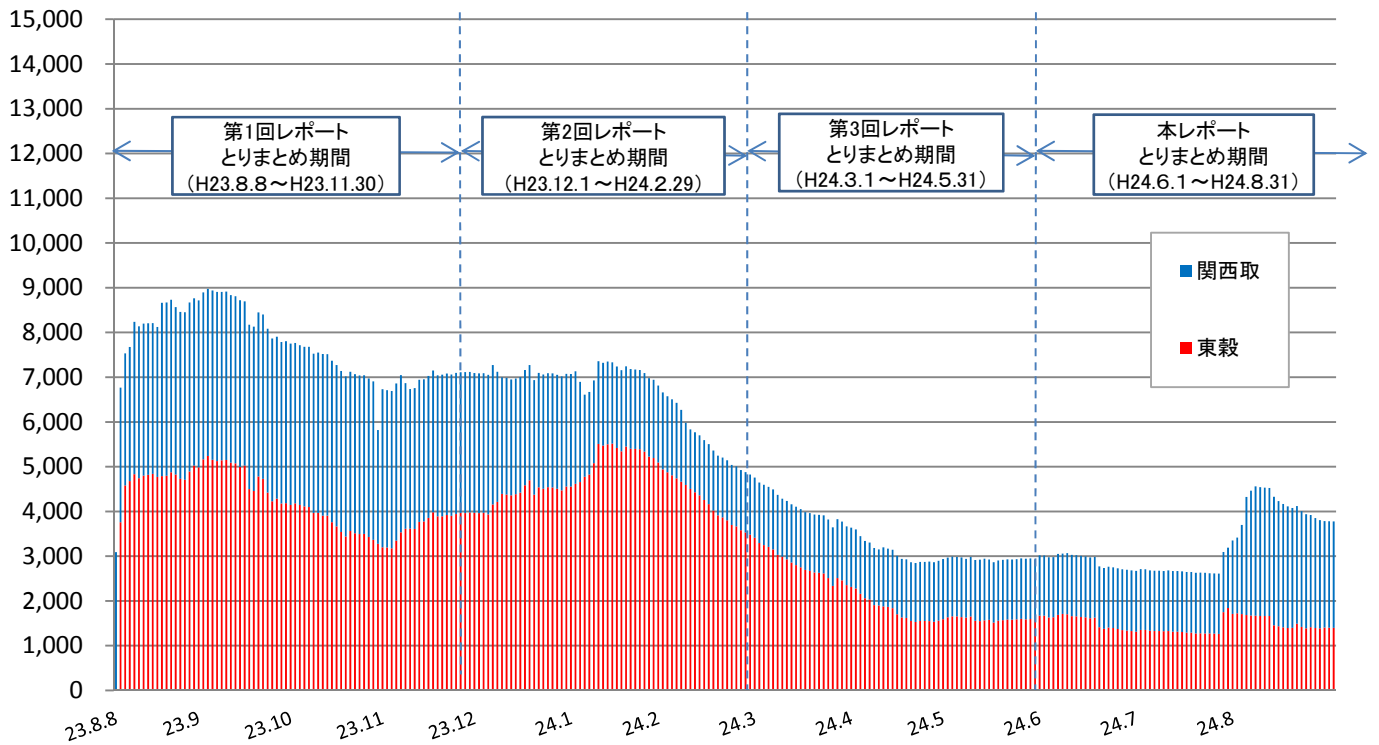
### (3) 取組高、取引参加者の動向

取組高：商品市場で成立した注文のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

#### ①-1 取組高(東穀、関西取合計)の推移

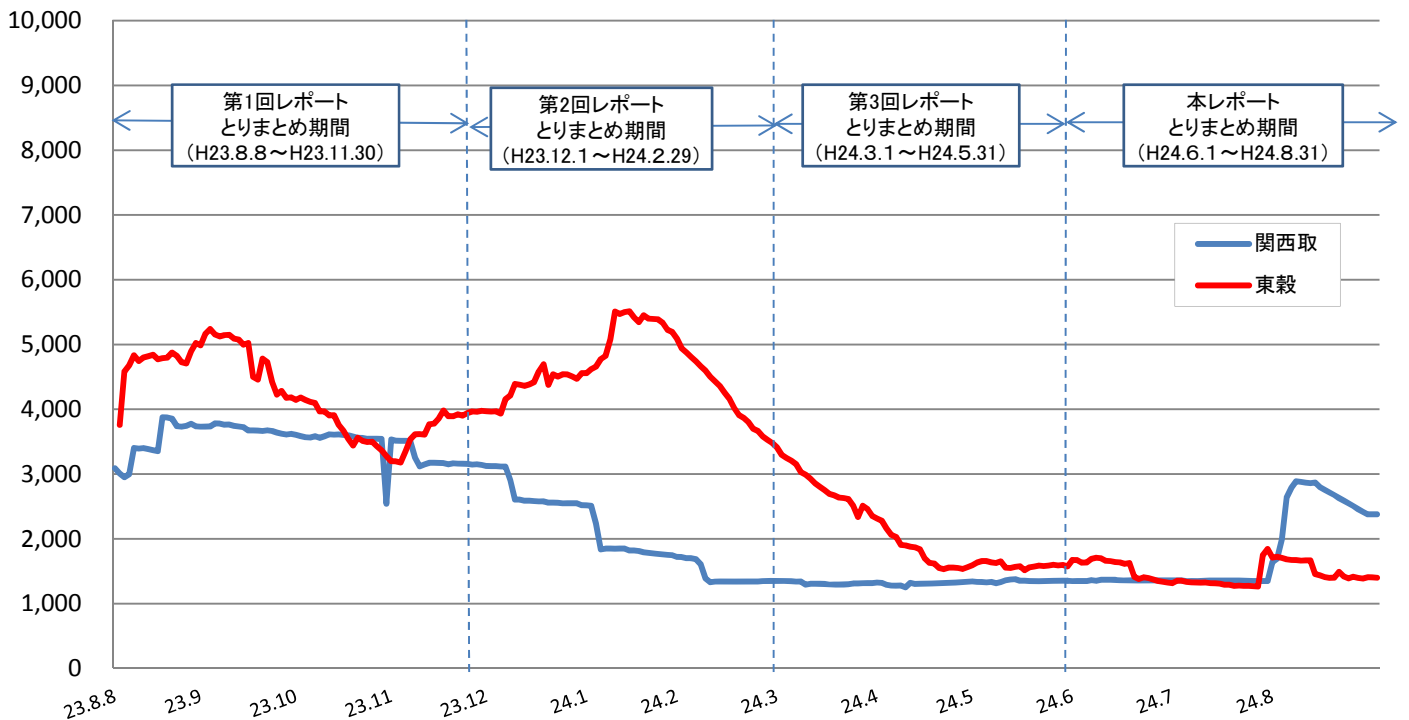
【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



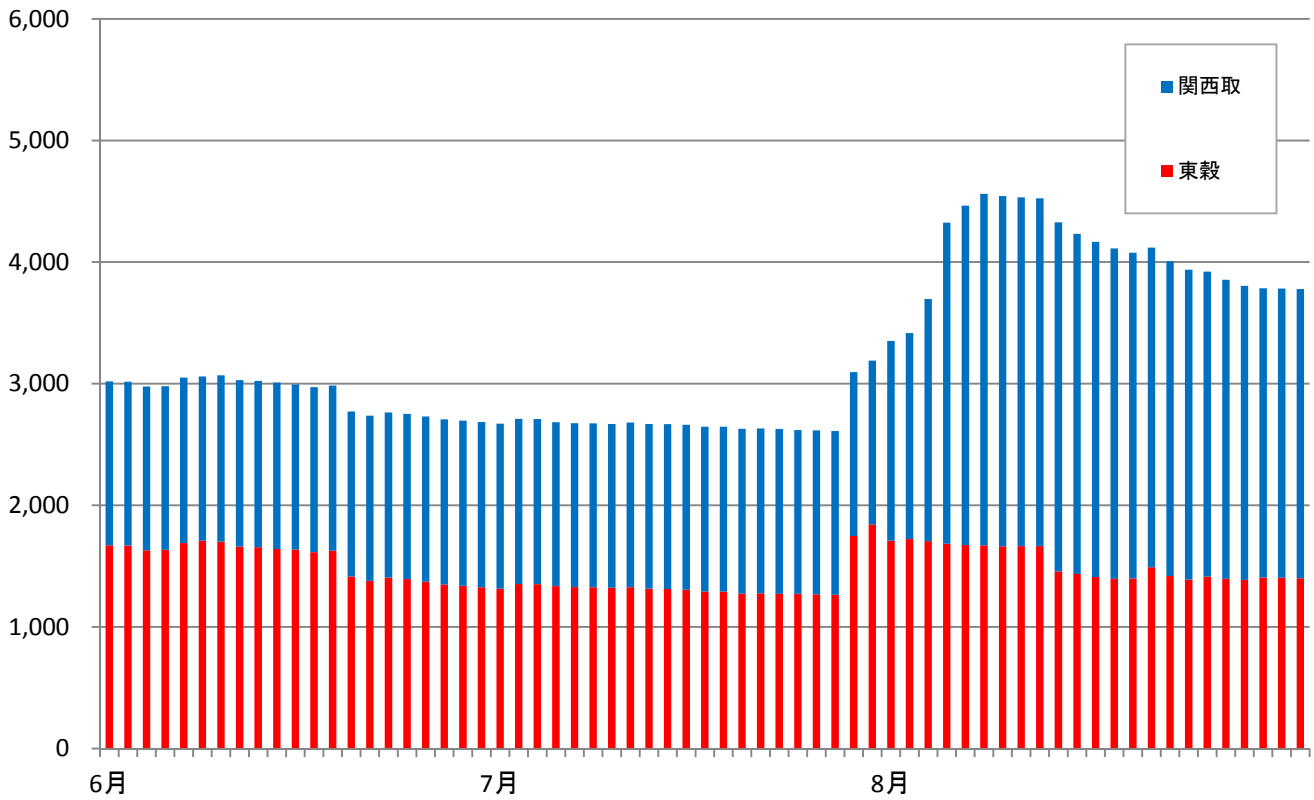
#### ②-1 取引所別の取組高の推移【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



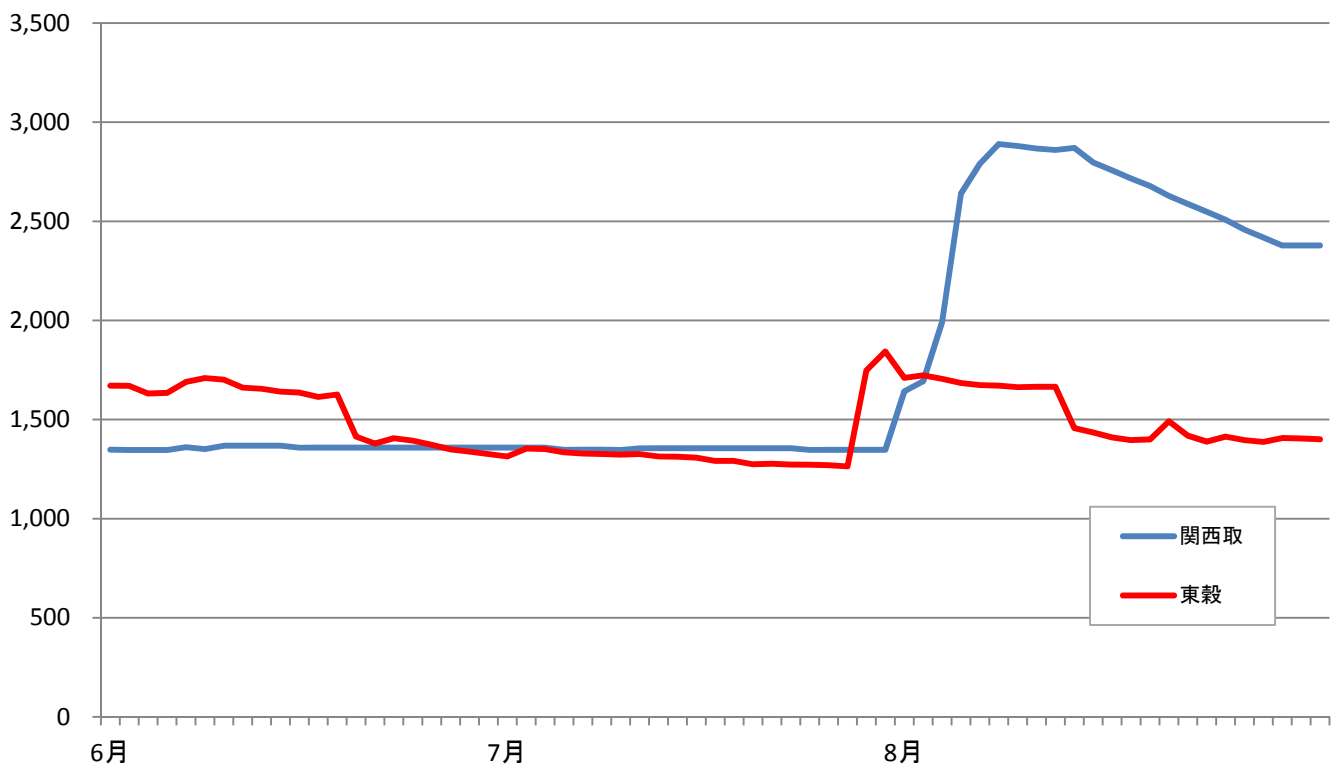
①-2 取組高(東穀、関西取合計)の推移【平成24年6月1日～8月31日】

(単位:枚)



②-2 取引所別の取組高の推移【平成24年6月1日～8月31日】

(単位:枚)



### ③ 限月別の取組高の状況

#### ア 東京穀物商品取引所

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	合計
平成23年 8月31日現在	78	792	2,358	1,797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,025
9月30日現在	76	515	1,298	1,340	956	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185
10月31日現在	51	393	904	582	845	503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,278
11月30日現在	-	348	807	457	544	1,321	500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,977
12月30日現在	-	-	345	351	516	1,213	1,489	642	-	-	-	-	-	-	-	-	4,556
平成24年 1月31日現在	-	-	-	255	457	1,058	1,120	1,544	761	-	-	-	-	-	-	-	5,195
2月29日現在	-	-	-	-	295	480	697	1,259	450	298	-	-	-	-	-	-	3,479
3月30日現在	-	-	-	-	-	306	488	821	224	351	162	-	-	-	-	-	2,352
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	193	528	178	332	199	131	-	-	-	-	1,561
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	331	166	147	223	517	191	-	-	-	1,575
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	109	94	159	331	315	318	-	-	1,326
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	106	293	227	668	486	-	1,843
8月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	122	65	514	482	152	1,400

#### イ 関西商品取引所

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	合計
平成23年 8月31日現在	421	502	806	2,009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,738
9月30日現在	381	502	729	1,378	630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,620
10月31日現在	385	500	682	724	139	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,540
11月30日現在	-	499	632	695	86	615	615	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,142
12月30日現在	-	-	597	604	75	65	591	586	-	-	-	-	-	-	-	-	2,518
平成24年 1月31日現在	-	-	-	407	74	64	41	600	562	-	-	-	-	-	-	-	1,748
2月29日現在	-	-	-	-	59	63	40	50	562	572	-	-	-	-	-	-	1,346
3月30日現在	-	-	-	-	-	57	50	50	12	584	561	-	-	-	-	-	1,314
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	41	46	14	24	570	643	-	-	-	-	1,338
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	25	12	23	18	691	584	-	-	-	1,353
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	12	20	18	141	600	567	-	-	1,358
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	18	141	42	566	560	-	1,347
8月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	141	41	316	1,060	810	2,378

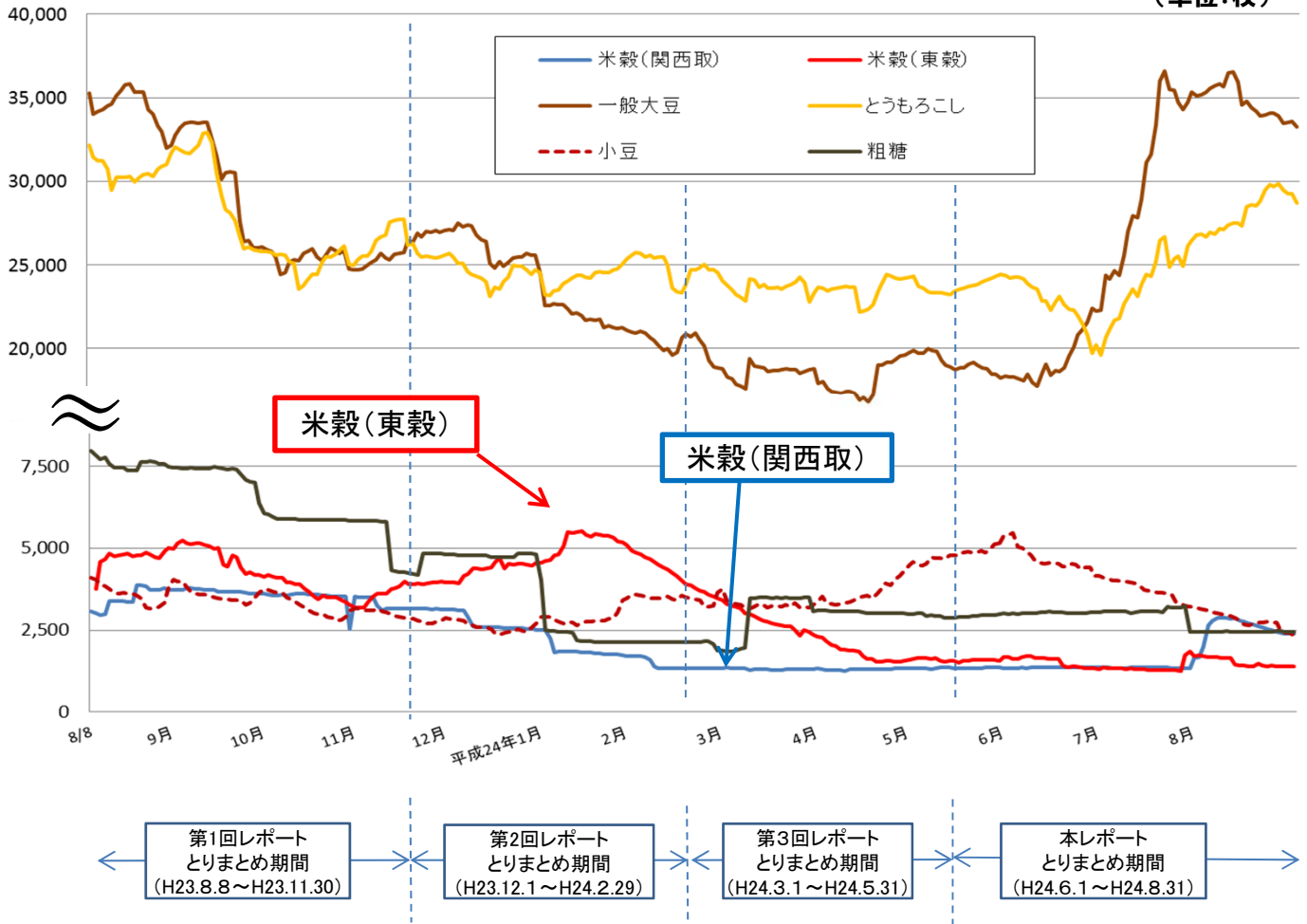
注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。



#### ④ 東京穀物商品取引所の主要商品と米穀の取組高の推移

【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

(単位:枚)



#### (参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

#### 【東京穀物商品取引所】

- 1 番限 300枚（7月限、8月限及び9月限の場合100枚）
- 2 番限 500枚
- 3 番限 1,000枚
- 4 番限以降 2,000枚

#### 【関西商品取引所】

- 1 番限 100枚
- 2 番限 350枚
- 3 番限 500枚
- 4 番限 1,500枚
- 5 番限以降 2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1番限から決済期限がより先のものに向かって2番限、3番限と数える。平成24年8月31日現在、米穀の場合は、1番限が9月限、2番限が10月限、3番限が11月限、4番限が12月限、5番限が1月限、6番限が2月限。

#### (4) 現物受渡しの状況【平成23年8月8日～平成24年8月31日】

米先物取引の試験上場においては、実際に米穀を受け渡すことにより、取引を決済することが可能。平成23年8月8日から平成24年8月31日までの受渡し状況は以下のとおり。

##### ① 限月別の現物受渡しの状況

##### ア 東京穀物商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60トン)	
12月限	はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	112枚(672トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	30枚(180トン)	うち、24枚(144トン)は早受渡し
2月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	20枚(120トン)	うち、14枚(84トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	32枚(192トン)	早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(108トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県会津産)	26枚(156トン)	うち、8枚(48トン)は早受渡し
5月限	コシヒカリ(福島県会津産)	6枚(36トン)	
6月限	コシヒカリ(福島県浜通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	48枚(288トン)	うち、22枚(132トン)は早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
7月限	コシヒカリ(福島県会津産)	28枚(168トン)	早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
8月限	コシヒカリ(新潟県産)	14枚(84トン)	
平成23年8月8日以降の累積値		386枚(2316トン)	うち、144枚(864トン)は早受渡し 又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、東京穀物商品取引所では6トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

## イ 関西商品取引所

限月	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12トン)	
12月限	コシヒカリ(福島県会津産)	5枚(15トン)	
平成24年1月限	コシヒカリ(福島県会津産)	39枚(117トン)	
	コシヒカリ(福島県中通り産)	17枚(51トン)	
2月限	コシヒカリ(福島県会津産)	52枚(156トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県中通り産)	90枚(270トン)	うち、83枚(249トン)は早受渡し
3月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	12枚(36トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(54トン)	
4月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	9枚(27トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	コシヒカリ(福島県会津産)	20枚(60トン)	
5月限	コシヒカリ(福島県中通り産)	1枚(3トン)	
	コシヒカリ(福島県会津産)	8枚(24トン)	
	コシヒカリ(埼玉県産)	1枚(3トン)	
6月限	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(30トン)	
7月限	コシヒカリ(福島県会津産)	2枚(6トン)	
8月限	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	うち、1枚(3トン)は早受渡し
平成23年8月8日以降の累積値		304枚(912トン)	うち、96枚(288トン)は早受渡し

注1:取引枚数1枚は、関西商品取引所では3トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:特に記載のない限り1等。

## ② 産地品種銘柄の割合

### ア 東京穀物商品取引所

銘柄	取引枚数(玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	332枚(1,992トン)	86%
コシヒカリ(新潟県産)	36枚(216トン)	9%
はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	3%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	2%
平成23年8月8日以降の累積値	386枚(2316トン)	100%

### イ 関西商品取引所

銘柄	取引枚数(玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	287枚(861トン)	94%
コシヒカリ(埼玉県産)	11枚(33トン)	4%
コシヒカリ(新潟県産)	6枚(18トン)	2%
平成23年8月8日以降の累積値	304枚(912トン)	100%

#### (参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（東穀は、茨城、栃木及び千葉コシヒカリ、関西取は、石川及び福井コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成24年8月31日現在）。

東京穀物商品取引所：

コシヒカリ（福島（会津・中通り・浜通り）、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉、その他府県産）※その他府県産は、平成24年10月限以降に適用。

ひとめぼれ（岩手、宮城）、あきたこまち（秋田）、はえぬき（山形）、きらら397・ななつぼし（北海道）、つがるロマン・まっしぐら（青森）

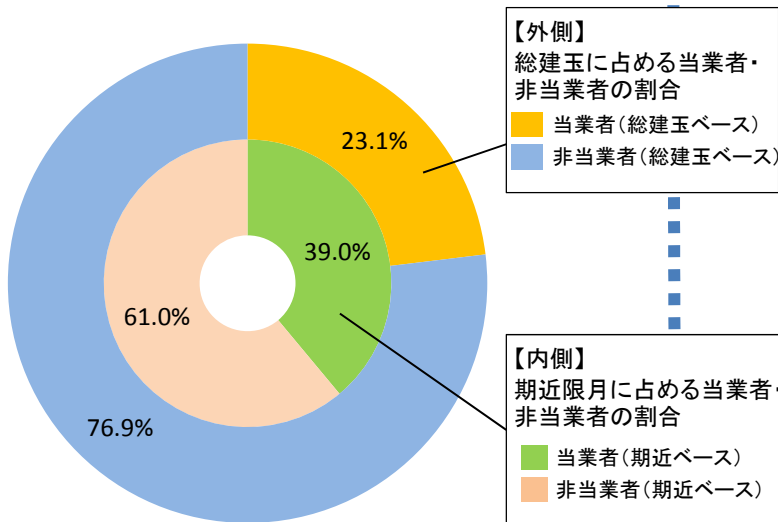
関西商品取引所：コシヒカリ（全国）

## (5) 取引参加者の構成

### ① 当業者・非当業者の割合

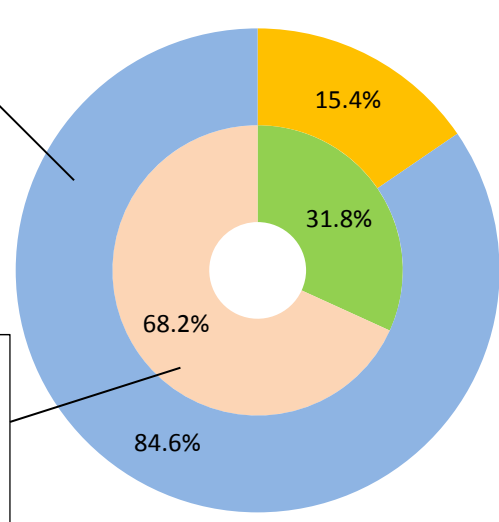
#### ア 東京穀物商品取引所

各月末平均値



#### イ 関西商品取引所

各月末平均値



		東京穀物商品取引所		関西商品取引所	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末平均値	総建玉に占める割合	23.1%	76.9%	15.4%	84.6%
	期近限月に占める割合	39.0%	61.0%	31.8%	68.2%
平成24年6月末	総建玉に占める割合	22.4%	77.6%	8.9%	91.1%
	期近限月に占める割合	52.3%	47.7%	16.7%	83.3%
7月末	総建玉に占める割合	45.0%	55.0%	8.5%	91.5%
	期近限月に占める割合	55.6%	44.4%	12.5%	87.5%
8月末	総建玉に占める割合	60.4%	39.6%	4.7%	95.3%
	期近限月に占める割合	67.7%	32.3%	0.0%	100.0%

注1: 東京穀物商品取引所及び関西商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

注2: 総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

注3: 当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

② 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者：米穀の先物市場においては、21枚以上（東穀は玄米重量で126トン、関西取は玄米重量で63トン）の建玉を有する者。

ア 東京穀物商品取引所(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	1,400	100.0%	1,400	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,284	91.7%	1,200	85.7%

イ 関西商品取引所(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,378	100.0%	2,378	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	2,281	95.9%	2,234	93.9%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京穀物商品取引所)(平成24年8月31日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	28,723	100.0%	28,723	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	19,711	68.6%	19,157	66.7%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	33,246	100.0%	33,246	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	26,278	79.0%	23,718	71.3%

注：商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(両取引所とも米穀については21枚以上、東穀のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。